

くらみ 里山留学 かわら版

2025年9月発行

第
13号

くらみ里山留学研究部会 かわら版編集部です！！

カレンダーは9月でも、まだまだ残暑が厳しい夏のような日が続いています。

皆さんに、ご報告したいことが沢山ありますので、今号もすみずみまで読んでいただけたら嬉しいです♪

かわら版編集部

掛川市倉真 3808-1

倉真地域生涯学習センター

倉真地区まちづくり協議会内

くらみ里山留学研究部会

電話: (0537) 29-1252

メール: kurami@ace.ocn.ne.jp

NEW

‘25年度

くらみ里山留学研究部会

くらみ里山留学研究部会は、倉真地区まちづくり協議会の16ある事業の一つ「里山留学推進事業」として位置づけられ、関係人口創出推進活動を行っています。活動費は、市のまちづくり助成金と地区のまち協予算を使わせていただき、倉真小児童数対策や空き家対策に取り組んでいます。研究部メンバーには、地域アドバイザーとして、地域の関連施設代表者や役員の方に入っており、顧問として有識者の皆さま、また専門アドバイザーには各専門家の皆さま、そして広域的協力者のプロボノやジェネレーターなどと多彩なメンバーで構成されています。幅広い世代と知識を持つメンバーが、それぞれの経験や知識を持ち寄って取り組んでいます。

役職	氏名	所属等	役職	氏名	所属等
部長	原田 淳子	倉真小を考える会代表	地域アドバイザー	橋本 勝弘	二区区長
副部長	松浦 直子	まちづくり協議会事務局	顧問	戸塚 久美子	NPO きほくのもり★ペンタス
副部長	遠藤 里果	まちづくり協議会事務局	顧問	松浦 成夫	認定NPO 時ノ寿の森クラブ
地域アドバイザー	杉村 美佳	倉真小学校保護者	教育アドバイザー	板倉 亨	倉真小学校校長
地域アドバイザー	田辺 工ミ	北中学校保護者	専門アドバイザー	天野 多美子	しずおか里山留学支援協会
地域アドバイザー	戸塚 貴子	倉真学童保育所所長	専門アドバイザー	橋本 貢	しずおか里山留学支援協会
地域アドバイザー	杉村 剛	ぴかっと倉真代表	プロボノ	山本 圭輔	㈱フレッシュルーム取締役
地域アドバイザー	山下 博幸	まちづくり協議会会長	ジェネレーター	斉藤 雄大	NPO ESUNE 共同代表
地域アドバイザー	松浦 克彦	区長会長			合計 17 名 (敬称略)

藤枝市移住支援団体「Rashiku (らしく)」視察研修

藤枝市の中山間地に、移住者（主に母親ら）で立ち上げた移住支援団体「Rashiku (らしく)」という団体があると聞いて視察に行ってきました！行政の制度を上手に使いながら、地域と連携して、移住者を迎えている団体です。



驚いたのは、口コミで移住をしてくる方が多いということ。「移住者が移住者を呼ぶ」それって、信用できる情報だからこそですね！

8月11日(月祝) 「山の日」の一日

午前

今年で10回目となる「倉真川リバートレッキング」。地域の子どもたちがとっても楽しみにしているイベントです♪ 近年は、くらみ里山留学に興味のある都市部家族の「地域体験会」として共同開催させていただいています。

今年は残念ながら荒天中止でしたが、代わりにセンターで「倉真川勉強会」を開催しました！屋外体験は叶わなかったけれど、屋内で川の生き物にも触れ、学び、倉真川の恵みと潤いを感じました。

今年の「山の日」は、午前は「リバートレッキング」(荒天中止、代わりに「川の勉強会」)。午後は「空き家勉強会」と盛りだくさんの一日でした。お手伝いいただいた区長さんはじめスタッフの皆さん、ありがとうございました。

午後

お盆期間中ということもあり、帰省家族とも聞いてもらえるよう「今から考えよう！おうちの未来～将来こまらなため、今から考える空き家のこと～」勉強会を開催しました。講師は、市くらしデザイン課の職員さん。常に住民の困りごとに向き合っている職員さんだからこそお話しできる「空き家のお悩み」。自分のうちやご近所まわりのことを自分事として考える時間となりました。今後も継続開催を予定しています。どうぞお気軽にご参加ください♪



お知らせ

地域のみなさんへ

いつも、当活動にあたたかいご支援ご理解をいただきまして、大変感謝申し上げます。

令和3年度から活動を始め、ありがたいことに現在2組のご家族を迎え入れることができました。大家さんのご協力をもって提供できた物件も、その2軒を最後に、候補地がなくなってしまいました。広報活動をして、住宅がなければ受け入れることができません。そこで昨年冬から区長会の皆さんに空き家の実態調査を実施していただきました。想像以上の空き家数に驚きながらも、その中から里山留学住宅にできそうな物件を調査しましたが、経年劣化が激しく、該当物件はありませんでした。

時を同じくして、掛川市に「空き家活用モデル事業」なる新規補助事業が新設されたと聞き、何としてもこの補助金を使って、空き家改修をしたいと急ピッチで手続きをスタートさせました。

結果、空き家実態調査以外の2物件が、厳しい審査基準を満たす物件であることがわかり、大家さんの地域貢献の思いから金銭的負担をご理解いただき、申請、そして見事補助金を採択することができました。先住物件である大家さん、そして調査協力いただいた区長の皆さま、今回決断してくだ

さった大家さん、皆々さまのご協力なしではここまでこれませんでした。

本当にありがとうございます。引き続きご理解ご協力よろしく願いいたします。

